



令和2年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 東京一番フーズ
代表者名 代表取締役社長 坂本 大地
(コード番号：3067 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 岩成 和子
(TEL：03-5363-2132)

通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、令和2年4月28日に未定としておりました令和2年9月期通期（令和元年10月1日～令和2年9月30日）の連結業績の実績値を現状の経済状況に基づき修正いたしましたので、お知らせいたします。また、令和2年9月期において特別損失を計上することになりましたこともお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異

令和2年9月期通期（令和元年10月1日～令和2年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
実績値(B)	3,975	△521	△447	△617	△69.90
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (令和元年9月期)	4,619	177	189	99	11.33

2. 修正理由

令和2年9月期の通期連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により算定が困難なため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき実績値を算定しましたので公表いたします。

国内の外食事業におきましては、令和2年2月より新型コロナウイルス感染症の影響が出始め、3月には、国内では営業の自粛、海外では連結子会社Ichiban Foods Inc.が運営するニューヨーク店舗は店頭販売のみとなりました。5月の緊急事態宣言解除以降徐々に売上高は回復してまいりましたが昨年対比でマイナスの状況が続いており、通期の業績は赤字となる見込みです。

3. 特別損失の計上について

上記理由により連結子会社Ichiban Foods Inc.において業績改善の見通しが立たないことから当第4四半期連結会計期間において減損損失を94百万円特別損失に計上する予定です。また、同様の理由により当社個別決算においても第4四半期会計期間において、保有するIchiban Foods Inc. 株式について関係会社株式評価損を114百万円、同社に対する債権に対して貸倒引当金繰入額を260百万円特別損失に計上する予定です。

以上